

参考

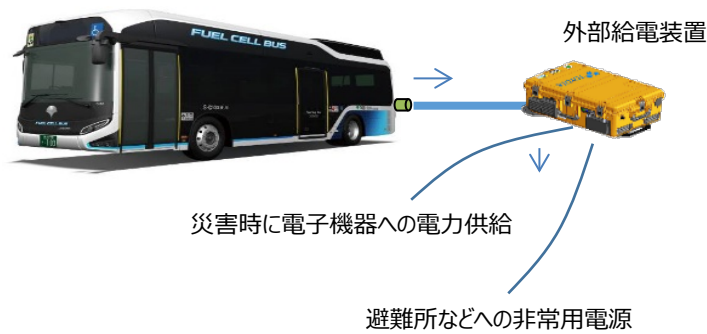
燃料電池バスの仕組み

燃料電池バスは、燃料となる水素と酸素を化学反応させて作った電気によりモーター駆動させて走行し、走行時には水しか排出しない、環境に優れたバスです。

また、燃料電池バスは、災害等による停電時には発電した電気を専用の装置を介することで、非常用電源として活用することもできます。



『外部給電システム』



広告掲出イメージ

- (1) 車体底部を除く全表面積の10分の3以下です。(水色の範囲)
- (2) 車体前面、窓又はドア等のガラス部分は掲出不可です。
- (3) 燃料電池バスと認識できるよう、「H₂ 水素」「FUEL CELL BUS」等のステッカーをラッピング広告の上から貼付していただきます。
- (4) 燃料電池バスと認識できるステッカーの貼付位置は移動可能です。



広告出稿のお申込み

交通局指定広告代理店(29社・50音順)を通じてお申し込みください。

(株)エヌケービー、エムシードゥコー(株)、(株)櫻華社、(株)オリコム、(株)キョウエイアドインターナショナル、協立広告(株)、
(株)近宣、(株)ケイエムアドシステム、(株)京王エージェンシー、(株)弘亜社、(株)こくせん、(株)三弘社、
(株)ジェイアール東日本企画、(株)春光社、(株)大晃、太平広告(株)、(株)電通、(株)東急エージェンシー、
(一財)東京都営交通協力会、東京レクラム新社(株)、(株)TOMOE、(株)日興社、(株)日広通信社、
(株)日本広明社、日本照明(株)、(株)はとバスエージェンシー、(株)文宣、(株)メディアデプト、(株)ラドフィック